

情報システムプロジェクト 1

第 1 回目 計画進捗報告

19-xxx 氏名

2021 年 4 月 7 日

進捗

ここに第 1 回目の進捗状況を書く。各作業の開始時刻・終了時刻を書く。また、プログラムの動作確認をした場合は後ろのテスト記録に書く。予定した作業が時間内で終わらなかった場合は、どこまでできたのか、どのような問題が残っているのか書くこと。

以下は進捗の記入例である。(実習ノート p.23 記入例 参照) 報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

課題	作業内容	作業時刻
準備	説明を聞く	13:30-13:45
問題 2.1	bsort.k の実行	13:45-14:00
問題 2.2	K21 言語プログラムの作成	14:00-14:15
	作成したプログラムの実行	14:15-14:25
問題 D.1	VSM の動作の記入	14:25-14:45
問題 D.2	アセンブラプログラムの作成	15:00-16:00
	VSM の動作の記入	16:00-16:25
問題 2.3	クラスとインスタンスの復習	4 月 10 日 10:00-10:30
問題 2.4	ファイル操作の予習	4 月 10 日 10:30-11:00

問題 D-1

```
          0  1  2  3  4
Ptrc :  Stack
        Dseg
↓
実行結果

./vsm ex2.asm
```

以下は例 付録 D.1 (指導書 p.56) の場合の記入例である。(指導書 p.58 図 7 参照) 報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 0 Stack

--	--	--	--	--	--

Dseg

↓ PUSHI 0 スタックに整数値 0 をプッシュ

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 1 Stack 0

--	--	--	--	--	--

Dseg

↓ PUSHI 3 スタックに整数値 3 をプッシュ

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 2 Stack 0 3

--	--	--	--	--	--

Dseg

↓ ASSGN Dseg の 0 番地にスタックトップの値を代入

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 3 Stack 3

--	--	--	--	--	--

Dseg 3

↓ REMOVE スタックトップを削除

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 4 Stack

--	--	--	--	--	--

Dseg 3

↓ PUSHI 1 スタックに整数値 1 をプッシュ

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 5 Stack 1

--	--	--	--	--	--

Dseg 3

↓ PUSH 0 スタックに Dseg の 0 番地の値をプッシュ

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 6 Stack 1 3

--	--	--	--	--	--

Dseg 3

↓ PUSHI 4 スタックに整数値 4 をプッシュ

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 7 Stack 1 3 4

--	--	--	--	--	--

Dseg 3

↓ AND スタック上の加算

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 8 Stack 1 7

--	--	--	--	--	--

Dseg 3

↓ ASSGN Dseg の 1 番地にスタックトップの値を代入

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 9 Stack 7

--	--	--	--	--	--

Dseg 3 7

↓ REMOVE スタックトップを削除

	0	1	2	3	4
--	---	---	---	---	---

Ptcr : 10 Stack

--	--	--	--	--	--

Dseg 3 7

↓ PUSH 1 スタックに Dseg の 1 番地の値をプッシュ

```
          0  1  2  3  4
Ptrcr : 11 Stack  7
          Dseg  3  7
```

↓ OUTPUT スタックトップを出力

```
          0  1  2  3  4
Ptrcr : 12 Stack
          Dseg  3  7
```

実行結果

```
./vsm ex0.asm
```

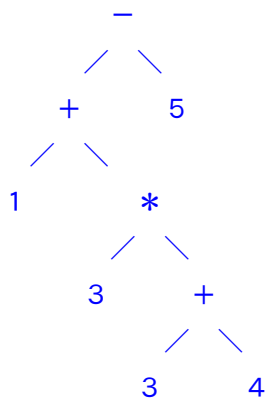
```
7
```

問題 D-2

問題 D-2-1

p.62 図 13 の様な木構造の図が描けるならここに描く。(適当な画像エディタを使って図を作成し、`\includegraphics` で図を取り込む) 図を描くのが無理ならしなくてもよい。

以下は例 付録 D.3 (指導書 p.61) の場合の記入例である。(指導書 p.62 図 13 参照) 以下のように文字をうまく配置して木構造を描いても良い。報告書提出の際は以下の部分は削除すること。



逆ポーランド記法の式

vsm アセンブラプログラム

実行結果

```
./vsm ex2.asm
```

問題 D-2-2

0 1 2 3 4
Ptr : Stack
Dseg
↓

第 2 回目 計画進捗報告

計画

ここに第 2 回目の計画を書く。予定している作業内容と、その作業に必要と思われる時間を書く。プログラムの作成は、動作確認およびデバッグに必要な時間も見積もる。

以下は計画の記入例である。(実習ノート p.23 記入例 参照) 報告書提出の際は以下の部分は削除すること。

2.2.2 FileScanner の作成

課題	作業内容	作業時間
問題 2.5	FileScanner の実装	45 分
	動作確認 (入力データ : bsort.k)	5 分
	デバッグ (必要なら)	20 分
問題 2.6	nextChar() の追加	15 分
	動作確認 (入力データ : bsort.k)	5 分
	デバッグ (必要なら)	10 分
問題 2.7	ScanAt() の追加	15 分
	動作確認のやり方を考える	10 分
	動作確認	5 分
	デバッグ (必要なら)	20 分
	時間が余ったら次回の予習をする	残り時間